

子育てママが調べた 小さな子どもが安心して利用できる施設を随時掲載しています

子育てママが調べた バリアフリーマップ

文字のサイズを ▲大きくする▼小さくする

ベビーカーや車いすで利用できるトイレ、おむつの交換場所や授乳室、エレベータや出入り口のフラットな対応など、誰もが利用しやすい施設の情報を調べることが出来るホームページです。

「子育てママからのコメント欄」は、県内の子育てママ達が各施設を訪ねた時の感想を、できる限りそのままの表現で掲載しています。

携帯用サイト
http://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/mobile/barrierfree/
→ 携帯にバリアフリーマップのアドレスを送信する

ホームページ

○パソコンから
http://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/barrierfree/

○携帯電話から
http://www.pref.yamanashi.jp/kosodate/mobile/barrierfree/

「子育てバリアフリーマップ」は、「やまなし子育てネット」のホームページ内にあります。施設の所在する市町村ごと、施設の種類の種類ごと、バリアフリーサービスの内容ごとに指定して検索することができます。

検索した個別の施設情報が表示された画面には、バリアフリー施設の写真や、所在地の地図のほか、実際にその施設を調査した子育てママからのコメントが掲載されています。

携帯電話からのアクセスも可能です。

子育てバリアフリーマップを
使ってみましょう

子育てママが調べた バリアフリーマップ



市町村の庁舎や病院、デパート、スーパーなど大勢の方が利用する施設では、ベビーカーや車いすで利用できるトイレ、おむつの交換場所や授乳室、エレベータの整備や出入り口のフラット化など、誰もが利用しやすいように、ユニバーサルデザインやバリアフリーの導入が進んでいます。

このたび、県では、妊婦や乳

幼児連れの方、高齢者や障害を持つ方など、誰もが安心して外出できるよう、こうした施設を紹介する「子育てバリアフリーマップ」をホームページに掲載しました。

このマップの作成にあたっては、子育てサークル「ママネットやまなし」のメンバーが中心になり、実際に施設を訪問して利用者の視点から調査しまし

バリアフリーマップに掲載されている施設の種類の種類

庁舎、集会施設、医療・保健・福祉施設
文化・スポーツ・レジャー施設、公園、ショッピングセンター・飲食店

バリアフリーマップに掲載されているサービスの内容

- 子育て／ベビーベッド、ベビーキープ、授乳室、託児室、プレイルーム
- トイレ／多機能トイレ、オストメイトトイレ、車イス対応トイレ
- 車イス／自動ドア、エレベータ、車イス駐車場、フラット、スロープ
- 視覚聴覚／点字ブロック、点字メニュー、音声案内



お問い合わせ先
山梨県福祉保健部児童家庭課
【TEL】055-223-1456

子育てママが調べた バリアフリーマップ

施設の種類 医療・保健・福祉施設

子育てママからのコメント あらゆる面で配慮されていて利用しやすい感じ。駐車場にもおむつ替え可能トイレ設置。授乳室は小児科外来にあり(利用者は受付に申し出て使用)。

住所 甲府市富士見1-1-1

ホームページ http://www.ych.pref.yamanashi.jp

電話/FAX 電話:055-253-7111 FAX:055-253-8011

利用時間 8:30~11:00

定休日 土、日、祝

【その他】車イス対応窓口 (総文庫について)

※「子育てママからのコメント欄」は、県内の子育てママ達が各施設を訪ねた時の感想を、できる限りそのままの表現で掲載してあります。

Interview

「子育てバリアフリーマップ」作りに参加した
NPO法人子育て支援センター
ちびっこハウスの松本恵子副代表

実際に調査をしてみると、普段気づかなかつた施設側の配慮を改めて発見することができました。新しい施設では多機能トイレが用意され、通路もベビーカーが通りやすい広さになっていて、安心して利用できます。また、昔からある施設でも、職員の方や従業員の方の気配りやサービスが行き届いていて、不便さを感じることなく利用できました。日ごろの子育てサークルの活動は、子育ての喜びや悩みを共有することが中心でした。今回の調査を通じて、一つの目的に向かってサークルのみんなで協力して活動することを経験することができました。社会の役に立つことの喜びややりがいを感じ、社会参加の良いきっかけになったという声も上がっています。そういった意味からも、このマップがお母さんたちの外出のきっかけになればと思います。これからも、子育て中のお母さんだけでなく、障害者の方や老人の方にとってもより価値のあるマップになるように活動を続けていきたいと思っています。